

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 4 年 8 月 3 日(2022.8.3)

【公開番号】 特開 2021-23497(P2021-23497A)
【公開日】 令和 3 年 2 月 22 日(2021.2.22)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-009
【出願番号】 特願 2019-142941(P2019-142941)
【国際特許分類】

A 6 1 B 5/05(2021.01)

A 6 1 B 5/053(2021.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 N

A 6 1 B 5/05 B

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 7 月 26 日(2022.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生体に筋電気刺激を付与することが可能な生体測定システムであって、
生体の生体電気インピーダンスを測定するための生体電気インピーダンス測定用電極と

、
生体に筋電気刺激を付与するための筋電気刺激用電極と、
を備え、
前記生体電気インピーダンス測定用電極と前記筋電気刺激用電極とは、生体に同時に接
触するように配置されている、生体測定システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の生体測定システムであって、
前記生体電気インピーダンス測定用電極と前記筋電気刺激用電極とは、互いに離隔して
配置されている、生体測定システム。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の生体測定システムであって、
前記生体電気インピーダンス測定用電極と前記筋電気刺激用電極とは、生体の足の裏に
同時に接触するように配置されている、生体測定システム。

【請求項 4】

請求項 1～3 のいずれか一項に記載の生体測定システムであって、
左部位用の複数の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、
右部位用の複数の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、
左部位用の少なくとも 1 つの前記筋電気刺激用電極と、
右部位用の少なくとも 1 つの前記筋電気刺激用電極と、
を備える、生体測定システム。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の生体測定システムであって、
左足用のつま先側の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、
左足用のかかと側の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、

10

20

30

40

50

左足用の土踏まず部の前記筋電気刺激用電極と、
右足用のつま先側の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、
右足用のかかと側の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、
右足用の土踏まず部の前記筋電気刺激用電極と、
を備える、生体測定システム。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の生体測定システムであって、
前記筋電気刺激用電極は、土踏まずの形状に合致する形状に突出した形状を有する、生体測定システム。

【請求項 7】

請求項 5 に記載の生体測定システムであって、
前記筋電気刺激用電極は、突出しており、押込み可能である、生体測定システム。

【請求項 8】

請求項 4 に記載の生体測定システムであって、
左足用のつま先側の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、
左足用のかかと側の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、
左足用のつま先側の前記筋電気刺激用電極と、
左足用のかかと側の前記筋電気刺激用電極と、
右足用のつま先側の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、
右足用のかかと側の前記生体電気インピーダンス測定用電極と、
右足用のつま先側の前記筋電気刺激用電極と、
右足用のかかと側の前記筋電気刺激用電極と、
を備える、生体測定システム。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の生体測定システムであって、
前記生体電気インピーダンス測定用電極と前記筋電気刺激用電極とは異なる素材を用いて構成される、生体測定システム。

10

20

30

40

50